

神戸女子大学
連携
関西子宮頸がん
予防研究会



子宮頸がんチェック

- 定期的に子宮頸癌検診を受けていない
- 複数のパートナーとセックスをしたことがある
- セックスをする時にコンドームを使わない
- 初めてセックスをしたのはかなり若い時
- タバコを吸う
- 最近子宮頸癌検診を受けていない
- 産婦人科を受診した時にハイリスク HPV 陽性と言われた



子宮頸がん
の発生には、その多くに
ヒトパピローマウイルス
(HPV : Human Papillomavirus) の
感染が関連しています。

国立がん研究センター
がん情報サービス ganjoho.jp

ヒトパピローマウイルスは、性経験のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えていることもあり、問題視されているウイルスです。

子宮頸がんとは

子宮頸がんは、子宮の入り口の子宮頸部とよばれる部分から発生します。

子宮の入り口付近に発生することが多いので、普通の婦人科の診察で観察や検査がしやすいため、発見されやすいがんです。

また、早期に発見すれば比較的治療しやすく予後のよいがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要です。

国立がん研究センター
がん情報サービス ganjoho.jp

絵：神戸女子大学家政学部4回生 N.Y さん作

子宮頸がんは、初期症状がなく、進行に気づきにくい病です
検診があなたを守ります

20歳から一生涯、2年に1回

子宮頸がん検診に行きましょう

エスディイーズ SDGsとは？

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。

ジーズ
GsはGoals（ゴールズ）の略です。

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

SDGsは、以下の17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。この中にも「子宮頸がん」と関連する項目も多くあります。

17の大きな目標の中で「子宮頸がん」と関連する項目を枠で囲みました☆

SDGsの17の目標



17の大きな目標の中で、子宮頸がんと関連する項目目標は、以下の4つです。

・3.すべてのヒトに健康と福祉を

あらゆる年齢の人に子宮頸がんは起こりうる可能性があります。まずは、予防・早期発見を心がけ、あらゆる年齢の全ての人が健康的な生活を確保すること、福祉が充実することが大切です。

・4.質の高い教育をみんなに

子宮頸がんの知識や検診受診で子宮頸がんを予防または早期発見することができる。そのため、質の高い子宮頸がんの教育を若者から公平に受ける機会を促進していくことが大切です。

・5.ジェンダー平等を現実にしよう

子宮頸がんは、性交渉による感染が原因と言われています。子宮頸がんは女性がかかる病気ではあるものの男性パートナーにも深く関わってくるものです。そのため、ジェンダーの平等を達成することが必要です。

・17.パートナーシップで目標を達成しよう

子宮頸がん予防啓発活動を行う団体は日本全国、世界中にも沢山存在します。その団体同士が助け合う、そして、身近なところでは、私たちの活動からあなた様と手を繋ぎ、検診受診率向上するように、広めていくことが大切です。

関西子宮頸がん予防研究会お問い合わせ先（事務局）

神戸女子大学
連携
関西子宮頸がん
予防研究会

〒679-1326

兵庫県多可郡多可町加美区西山103番地

E-mail：morino-2552.h@hera.eonet.ne.jp 代表：森野

子宮頸がんの知識やご相談を産婦人科専門医師と子宮頸がんに関する研究者が、ご相談を賜ります。

お気軽にお問い合わせください